

# みずほベトナムニュース Vol.7

(2008年9月)



(ホーチミン市内の  
サイゴン大聖堂)

## ~~~~ 目次 ~~~~

1. 特別企画 「ベトナム商工会議所ホーチミン支部  
VO TAN THANH 会頭インタビュー」 .....P 2
2. ベトナム投資 Q&A .....P 4
3. 人事・労務「ベトナム人の注意すべき気質・行動②」 .....P 5
4. ベトナム法務  
「ベトナムにおける外国人労働許可証 (Work Permit) について」 ...P 6
5. 工業団地便り「ドンバン 2 工業団地」 .....P 7
6. ベトナムドン為替情報 .....P10
7. 経済データおよび動向 .....P11

編集・発行 みずほ銀行国際営業部

## 1. 特別企画 ベトナム商工会議所ホーチミン支部 VO TAN THANH 会頭

執筆：みずほ銀行国際営業部

ベトナムで「HONDA」と言えばバイクの総称をさすほど、自動車よりもバイク社会のベトナム。このためバイクの現地調達率は産業の中でも高くなっています。しかし、これは特殊な例であり、ベトナムの裾野産業は未発達です。政府もベトナム経済の底上げのため裾野産業の育成に取り組んでいますが、現場レベルでの実情はどうなっているのでしょうか。このほど、ベトナムの裾野産業の現状を調査するため、ホーチミン、ダナン、ハノイを中心に調査しました。この中で、ベトナム企業約1万社が加盟するベトナム商工会議所（VCCI）のホーチミン支部を訪問し、VO TAN THANH 会頭にインタビューしました。



ベトナムの裾野産業について語る  
ティン会頭

みずほ ベトナムの裾野産業の現状をお聞かせ下さい。

会頭 ベトナムの部品メーカーはまだ発展していないというのが私の認識です。現地調達の点から言うと、オートバイの現地調達率は70～80%程度で、主に日系や台湾系の企業が中心となっています。自動車産業の裾野産業はほとんど育てておらず、簡単な部品のみで現地調達率は15%ほどです。家電では70%程度の現地調達率となっています。ただ日系企業に提供できるような技術力をもったベトナム企業はまだ少なく、また、ベトナム部品メーカーは、ほとんどが中小企業で、資本や技術力の点でまだ制限されています。また品質管理システムもよくないし、販売先確保の問題もあることから、ベトナムの部品企業は発展していません。だが、ベトナムの工業発展のためには、部品企業の発展が第一で、最近では法人税、銀行融資、工場用地の提供、熟練工の養成（人材開発）といった点で政府も部品産業を奨励しようとしています。

みずほ ベトナムの部品メーカーの歴史的な背景を教えてください。

会頭 1990年以前はほとんどが国営企業でした。民間企業の設立は、民間法が施行された91年以降です。現在、ベトナム企業は約25万社ありますが、そのうち国営企業が約2,000社、合弁企業が9,000社でこのほか零細企業が24万社ほどあります。ベトナムにとって1991年は民間企業が生まれたという大きな変化のあった重要な年でした。このとき民間企業を設立した社長は、元国営企業で働いていたエンジニアらが多くなっています。

